



スポーツより人命最優先 政治は振り回すのやめて スポーツ文化ジャーナリスト 宮嶋泰子さん

開催へ突き進む東京五輪・パラリンピックをどう見るか。テレビ朝日の元アナウンサー兼ディレクターとしてオリンピックを19回取材してきたスポーツ文化ジャーナリストの宮嶋泰子さんに聞きました。（勝又秀人）

一五輪まで2カ月を切りました。いまの状況をどう見ますか。

もうオリンピックどころの話ではないような気がします。スポーツよりも人命が最優先です。

先日、自宅から歩いて3分の近所でオリンピックを考えるセミナーが開かれていました。多くの参加者が詰めかけ、五輪の批判ムードを肌で感じました。

日本人は昔から「国連、ノーベル賞、オリンピック」が大好きと言われてきました。そんな国民性であっても、今夏の開催に反対が7割にもなっています。

一反対世論がおさまらない理由は？

いくつもの要因が重なっていると思います。

一つは政治への不満があげられます。菅首相や政府関係者は「安心・安全な大会」だからと、政治主導で突っ走っています。

ところが新型コロナウイルスへの対策が乏しく、抑え込むためのプロセス（過程）が見えません。各国がしているような無症状者をつかむPCR検査を十分にせず、ワクチン接種率も世界で128位です。五輪開催に対する国民の批判は、国のコロナ対策への不満が爆発したのだと思います。

重なるのは西側諸国のボイコット騒ぎに揺れた1980年のモスクワ五輪です。あの時、米国のカーター大統領のよびかけに応じて日本政府が日本オリンピック委員会に圧力をかけて、出場を断念させました。私は日本が出場しないオリンピックを現地で報道しました。

あれから40年余り。今度もスポーツが政治に振り回されて、オリンピックが政治問題化しています。

もう一つは、東京五輪を進める人たちの「粗（あら）」が次から次へと見えたことです。

今年になって、女性蔑視で批判された大会組織委員会会長や五輪式典責任者が辞任しました。一昨年には招致段階の贈賄疑惑が浮上した日本オリンピック委員会会長が退任しました。相次ぐ不祥事に不信感が募っていました。

私は東京五輪が決まった2013年の国際オリンピック委員会（IOC）総会（ブエノスアイレス）取材した時点で、気持ちが一気に冷めました。安倍前首相が「（東京電力福島原発事故の汚染水は）アンダーコントロール（統制下）」と話して、耳を疑いました。

—国民にとって五輪自体の印象が悪くなってきている気がします。

2年前、知り合いの年配女性から「オリンピックって単なる金集めでしょ？」と聞かれて、五輪への風向きが変わったのを実感しました。

オリンピックは世界の進歩を反映して女性競技者が活躍の場を増やし、難民選手団も参加できるようにもなりました。一方で、巨費を投じた施設の建設や招致の疑惑が批判を浴びたり、「平和の祭典」の理念が忘れられて国威発揚に使われたりしています。

近代五輪の創始者クーベルタンは、初代IOC会長を退任した後の1920年代後半に、こんな言葉を残しました。「もし生まれ変わって100年後にこの世に戻ってきたなら、私は自分でつくったものをすべて壊すでしょう」。五輪が国によるメダル競争に変質した現実を見ての発言だとされています。

それから約1世紀。クーベルタンが五輪の現状を見たらどう思うのでしょうか。

—出場予定の選手たちが率直な心境を語り始めています。

16日の体操NHK杯で五輪代表の座を勝ち取った萱和磨（かやかずま）選手は「五輪がなかったとしても大好きな体操はやめない。どんな結果になろうが、まっすぐ前を向いて頑張る」と、中止も視野に入れた発言をしました。陸上女子長距離の新谷仁美（にいやひとみ）選手は「国民がやりたくないのなら開催する意味が全くない」と繰り返し語っています。

私はずっと、社会があってこそスポーツが成り立つと考えてきました。オリンピックはあくまでもスポーツの一つであり、すべてではありません。

日本のトップ選手は恵まれた環境の中で、自分のパフォーマンスを上げるためだけに集中できます。自己中心であることが許された特別な存在です。それなのに、社会の中で自分のあり方を考えられる選手が出てきていることに希望を感じます。

モスクワ五輪ボイコットによる選手の無念を知っているものとして、今回も選手に悔しい思いをさせたくはありません。でもやはり、現状では開催は難しいと考えたい。選手たちがそれを口にできるようになった日本のスポーツ界は、捨てたものではありません。

みやじま・やすこ 1955年1月生まれ。77年テレビ朝日に入社。アナウンサー兼ディレクターとして80年モスクワ五輪から2018年平昌五輪までオリンピックを19回取材。17年、日本オリンピック委員会（JOC）女性スポーツ賞受賞。現在は一般社団法人カルティベータ代表理事。

（akahata2021.5.27引用）